

○計画概要
 構造 : 木造
 階数 : 3階
 防火 : 準耐火構造(ロー1)
 敷地面積 : 194㎡
 建築面積 : 116.27㎡
 建蔽率 : 59.94%
 床面積 : 295.88㎡
 96.25㎡(1階)
 88.46㎡(2階)
 111.17㎡(3階)
 容積率 : 152.52%

○概算事業費(税込)
 本体工事費 : 48,500,000円
 設備工事費 : 13,000,000円
 外構工事費 : 3,000,000円
 設計監理費 : 5,000,000円
 その他諸費用 : 500,000円
 (ポーリング、登記など)

○設備概要
 給排水設備、電気設備、プロパンガス
 消防設備、防犯カメラ、エレベーター
 照明器具 : LED
 情報設備 : 全館無線LAN
 電話 : 内線機能付電話機
 音響設備 : マイク・スピーカー
 (小・大会議室)

○計画コンセプト
 (まちの寄合空間)
 地域住民によって日常、気軽に立ち寄ることができ、また建物内の活動の気配が前面道路にしみ出し、街に活気をもたらす「まちの寄合空間」のような町内会館づくりを目指します。

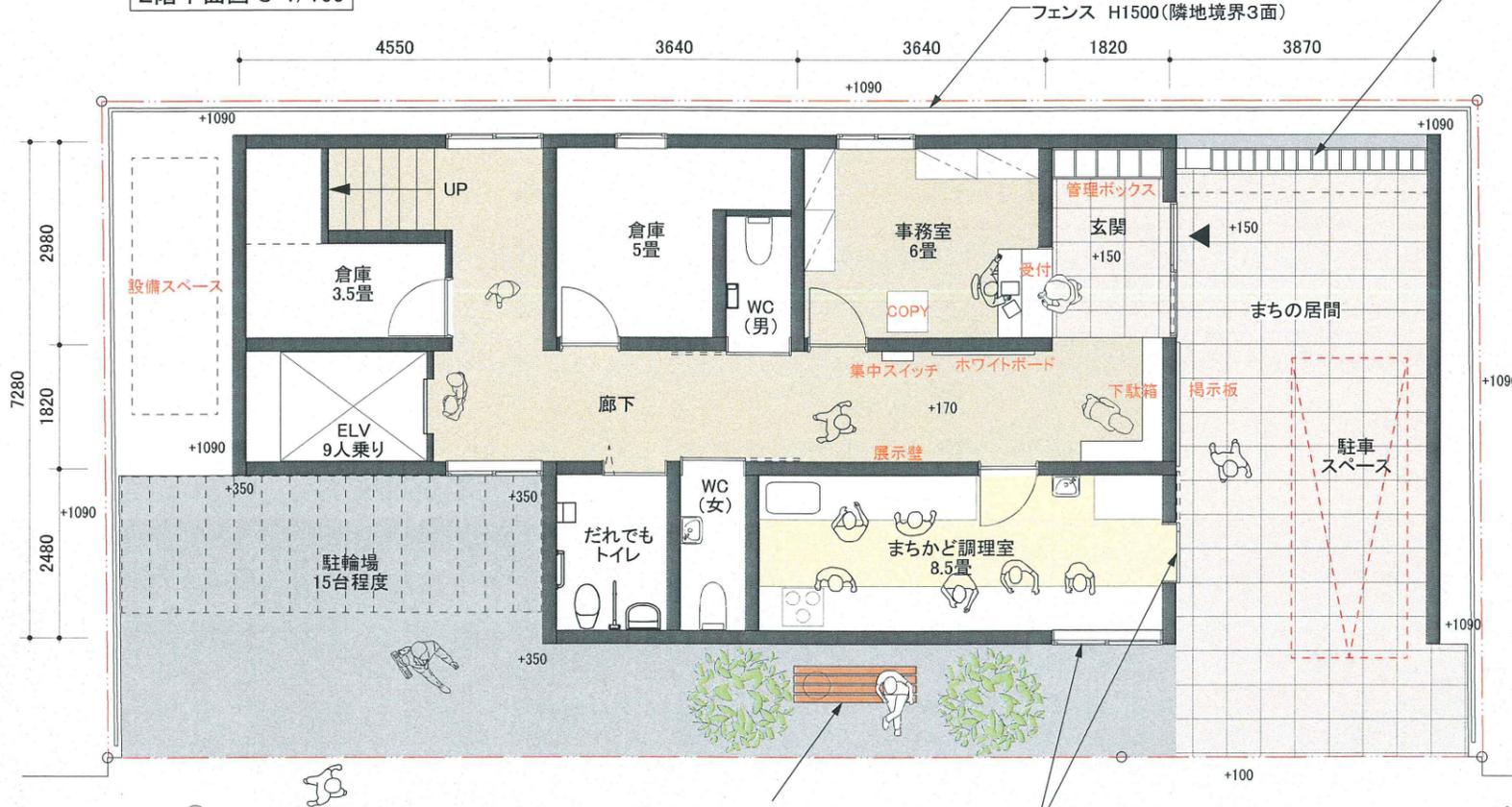
(安全で快適なデザイン)
 子供から高齢者まで世代を問わず建物を安全に快適に使えるように素材や寸法、ディテール、設備などに関して配慮された建物計画にします。

(地域の防災拠点として)
 仮設トイレの設置や被災時の配給所や避難所として地域の防災拠点の一翼を担える建物計画とします。

(周辺環境との調和に配慮したデザイン)
 既存の周辺住環境との調和を図るために切妻屋根形状のシンプルな家型の外観デザインを基調としています。

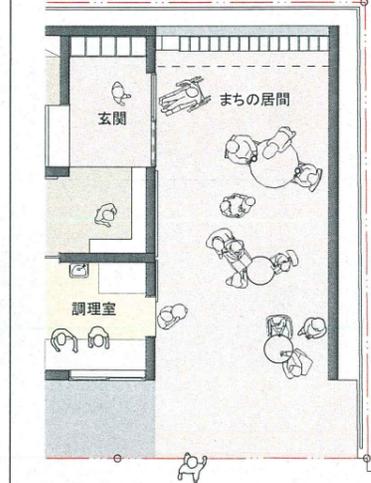
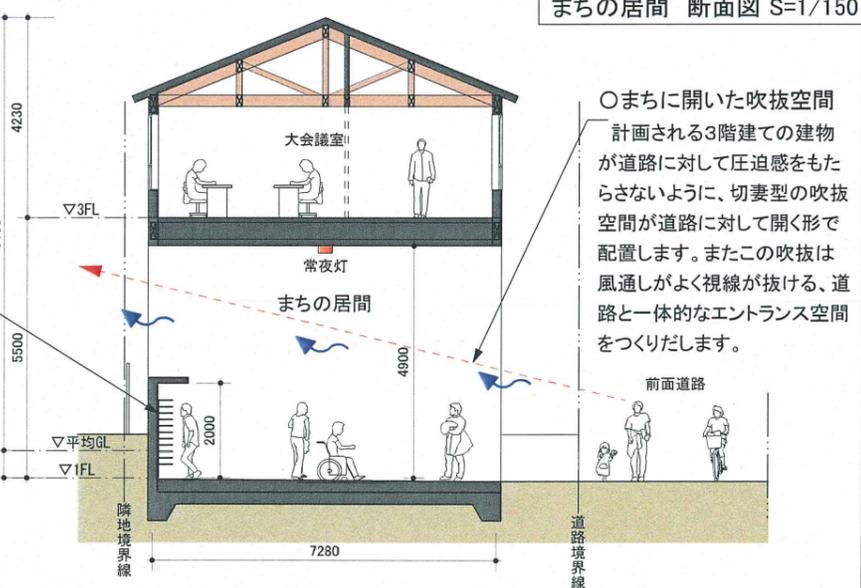
(経済的な設計)
 一般流通サイズに納まる柱梁集成材を主に使用した構造計画や既製の建材を多用したシンプルデザインにすることで施工しやすく経済性に配慮した建物計画とします。

2階平面図 S=1/100



○多様な使い勝手が可能な「まちの居間」
 前面道路に対して大きく開かれた軒下空間である「まちの居間」は、多様な使い勝手に対応可能で居心地が良い地域の居間空間として整備します。
 また車が1台駐車することが可能なスペースを確保しています。

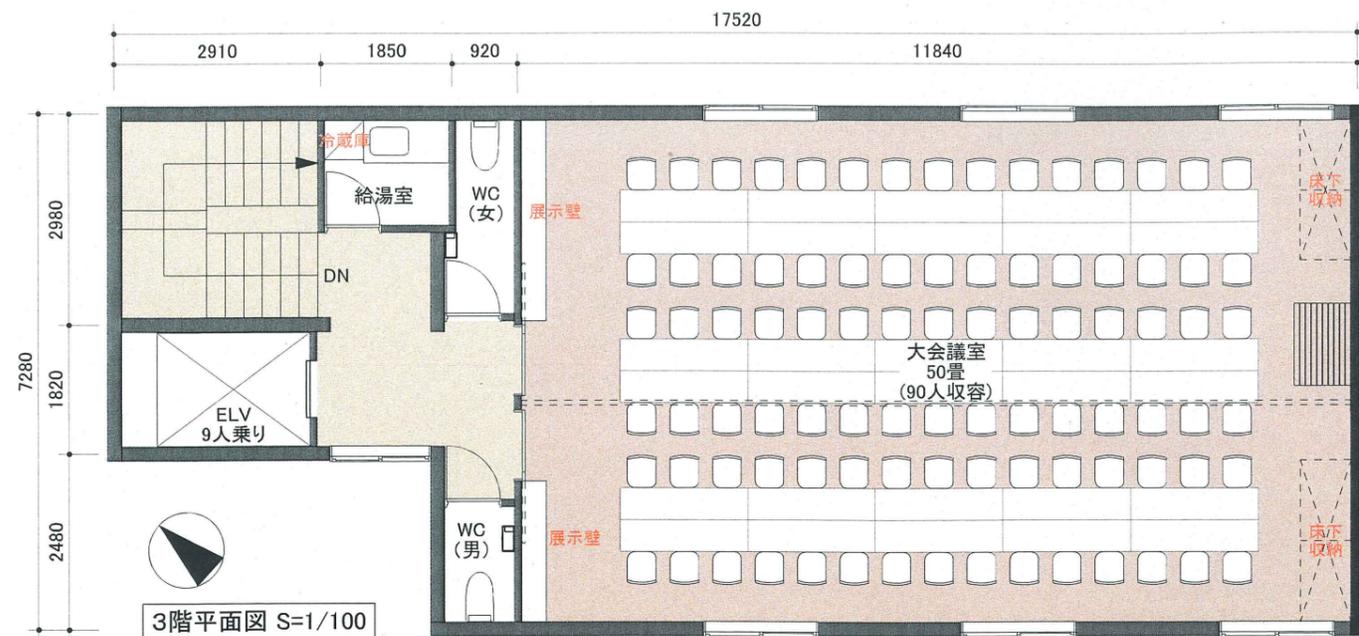
○郵便受け、宅配ボックス、各組資料用ボックス
 町内会館が閉館状態でも資料の受取が可能な「まちの居間」にボックス類を設置します。また屋根の下に設置するため濡れる心配がありません。



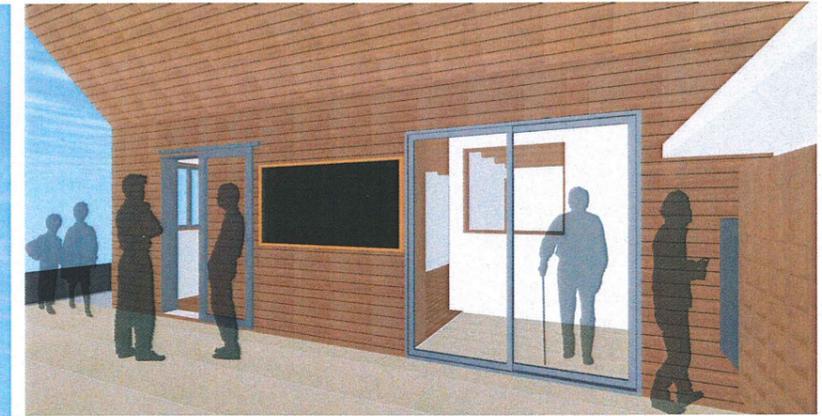
まちの居間 利用パターン平面図 S=1/150



1階平面図 S=1/100



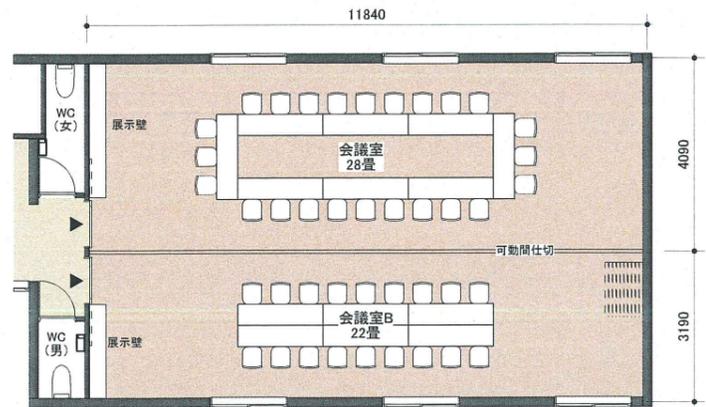
道路側建物外観



まちな居間 建物出入口を見る

○多様な使い方に対応した大会議室 S=1/150

大会議室には可動間仕切り壁及び出入口を2カ所設け、床を防音仕様にする事で少人数の打合せや稽古などに対応可能なスペースにします。



道路側建物正面外観



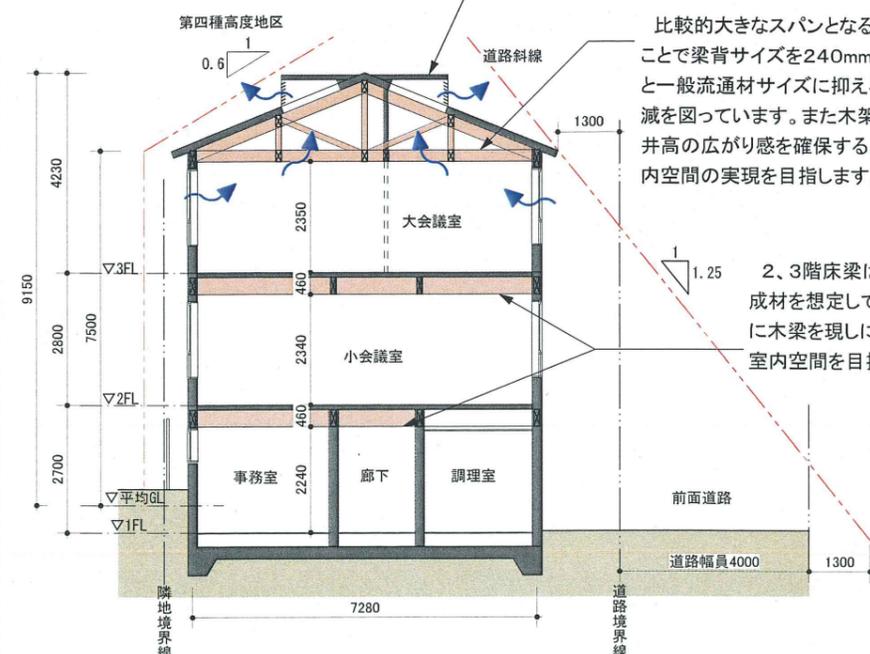
前面道路からまちな居間入口を見る

断面図 S=1/150 (Section diagram S=1/150)

屋根には換気窓を設置することで春秋といった中間期における通風を確保し、空調費用負担の軽減を図ることを目指します。

比較的大きなスパンとなる屋根架構はトラスを組むことで梁背サイズを240mm、柱サイズを120mm角と一般流通材サイズに抑えることで、木躯体費の低減を図っています。また木架構を現しにすることで天井高の広がり感を確保すると同時に木質感豊かな室内空間の実現を目指します。

2、3階床梁は120×360サイズの集成材を想定しています。屋根梁と同様に木梁を現しにすることで木質感豊かな室内空間を目指します。



2階小会議室



3階大会議室